

1. 北部地域への交通支援に関する意見交換会

1.1 開催概要

- 鉄道駅やバス停から半径 300 メートル圏外の地域を「交通支援検討地域」と定義し、勾配がきついなどの理由で移動が困難となっている市北部地域の「交通支援検討地域」において、新たな公共交通の導入を検討するため、意見交換会を実施しました。
- 意見交換会の実施概要及び主な意見を以下に示します。

○意見交換会の実施概要

○刀根山小学校区
2025 年 5 月 13 日(火)
14:00～
刀根山蛭池会館 1 階 集会室
市民参加者 3 人



○蛭池小学校区
2025 年 5 月 15 日(木)
14:00～
蛭池公民館 第1講座室
市民参加者 6 人



○待兼山地区
2025 年 5 月 16 日(金)
14:00～
待兼山会館 集会室
市民参加者 22 人



○桜井谷小学校区
2025 年 5 月 19 日(月)
14:00～
桜井谷会館 2 階 集会室
市民参加者 5 人



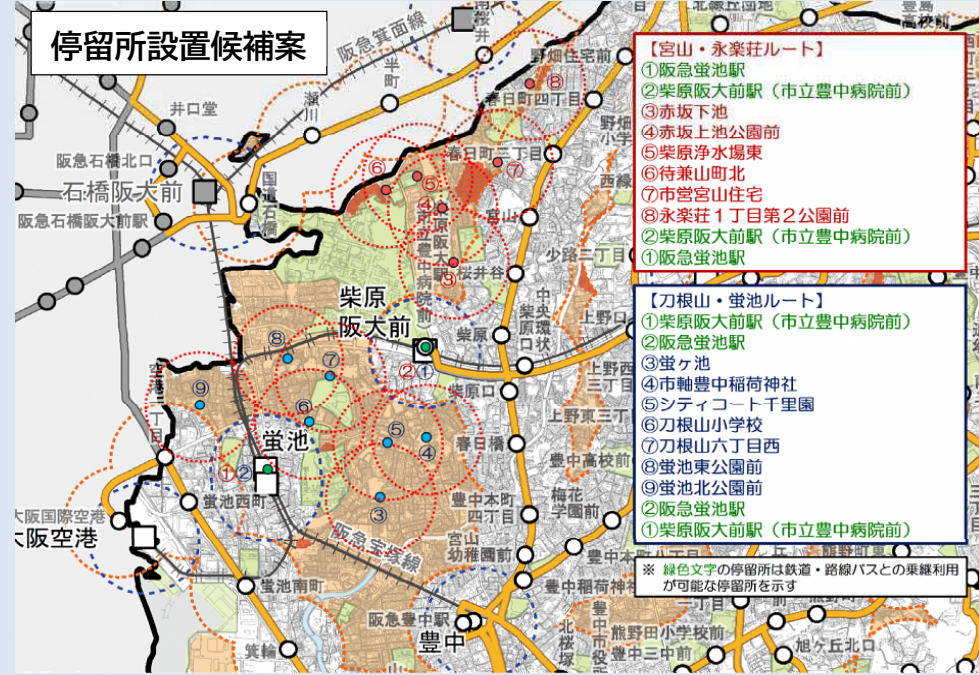
○野畑小学校区
2025 年 5 月 20 日(火)
14:00～
永楽荘会館 2 階 会議室 4
市民参加者 5 人



○提示資料の概要

本意見交換会では、以下の項目について資料をもとに説明し、意見交換を行いました。

- 【交通支援検討地域の状況】
 - ・ 鉄道駅及びバス停から半径 300m 圏外の地域となる「交通支援検討地域」の分布状況を提示
- 【北部地域の状況】
 - ・ 勾配がきつい等の状況により移動が困難となっている北部地域の状況を提示
- 【交通モードの選択】
 - ・ 既存の公共交通及び想定する新たな交通システム(路線バス(コミュニティバス)、タクシー、乗合タクシー)の概要・適用イメージを提示
- 【デマンド型の運行形式】
 - ・ デマンド型による運行方式(定路線型・セミデマンド型・フルデマンド型)について、概要とメリット・デメリットを提示
- 【停留所設置候補案】
 - ・ 新たな交通支援を実施するにあたり、乗降場所を設置する場合の現時点での停留所設置候補案を提示



1.2 開催概要意見交換会における主な意見・要望

【地域の交通状況に関する意見・要望】

分類	いただいた主な意見・要望	蛭池 小学校区	刀根山 小学校区	桜井谷 小学校区	野畑 小学校区	待兼山 地区
拠点等へのアクセス確保について	廃止となった豊中病院線のルートでの運行を希望	○				
	以前に運行していた路線バス(阪北線)のように柴原阪大前駅(市立豊中病院前)へのアクセス確保を希望			○	○	
急な坂道への対応について	刀根山周辺の坂道が高齢者にとって利用しづらい(スロープや手すり設置希望)		○			
幹線道路での横断について	大阪中央環状線の横断距離が長く、高齢者は1度の青信号(1回の現示)で横断することが困難		○			
自転車へのマナー啓発について	自転車が歩行者の横を速いスピードで走ることがあり、危険と感ずることがある		○			
高齢者への支援について	高齢者の免許返納を促進できる交通支援の必要性		○			

【新たな交通支援の運行概要に対する意見・要望】

分類	いただいた主な意見・要望	蛭池 小学校区	刀根山 小学校区	桜井谷 小学校区	野畑 小学校区	待兼山 地区
運行形態について	小型車両による巡回バス(コミュニティバス)のような運行形態を希望	○			○	
	予約制について、利用しづらさがある		○	○	○	○
運行開始時期について	いつから運行できるのか	○	○	○	○	○
既存の乗合タクシー「Mina Notte」について	予約方法(複数人数予約、前日受付、Web 予約の検討など)や運行車両について	○	○	○	○	○
他の交通モードとの連携について	モノレールや路線バス等の他交通機関との連携強化希望			○	○	
運賃について	乗合タクシーの運賃について(路線バスと同じ料金設定を希望)	○	○	○	○	○
停留所について	買い物施設付近への停留所設置を希望	○		○	○	
	高齢者が多い地区等への停留所設置を希望		○			○
待合環境について	停留所にベンチがほしい			○		
運行エリアについて	箕面市域への乗り入れを希望					○
運行時間帯等について	運行時間帯は8時～18時台でよいが、運行間隔を狭くし、利便性向上を希望		○			
満員の場合の対応について	利用者増加に伴う満員対応の必要性(続行便の準備等)	○				

2.【速報版】北部地域における公共交通に関するアンケート調査

2.1 目的

- 豊中市では、市内の公共交通の課題や将来のあり方について整理した「豊中市公共交通改善計画」を令和 7 年(2025 年)3 月に改定しました。この計画に基づき、鉄道駅やバス停から離れていたり、坂道が多く移動が困難な地域において、買い物や通院など日常生活を支えるための新たな交通システムの導入に向けた検討を進めています。その一環として、地域の皆様の移動の実態や公共交通に対するご意見を把握し、今後の施策に反映させることを目的に、アンケート調査を実施しました。

2.2 アンケート調査実施概要

(1) 調査方法

- 住民基本台帳から無作為抽出による郵送配布、郵送・電子回収(6 ヶ月以上在住者対象、町丁目別・年代別・性別に調査対象地区の人口構成に応じて均等抽出)

(2) 調査対象者

- 北部地域のうち、対象とする交通支援検討地域に在住する 20 歳以上の市民

(3) 調査規模

- 北部地域のうち、対象とする交通支援検討地域に 1,200 部配布(WEB による回答も可能)

(4) 調査時期

- 令和7年(2025年)5月16日(金)～6月6日(金)

(※今回の集計結果は 5 月 30 日(金)までの回収部数 372 部が対象)

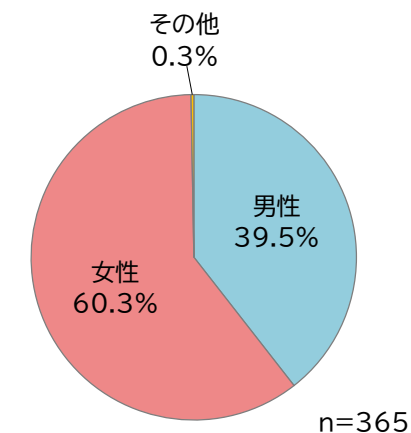
(5) 調査項目

- ① 現在の外出状況について
(平日及び休日の外出行動について、外出時の困りごとについて)
- ② 豊中市内の公共交通の利用状況について
(最寄り駅までの移動状況について、路線バス・タクシーの利用状況について)
- ③ 公共交通の必要性等に関する意識について
- ④ 市が検討している新たな交通手段について
- ⑤ 属性

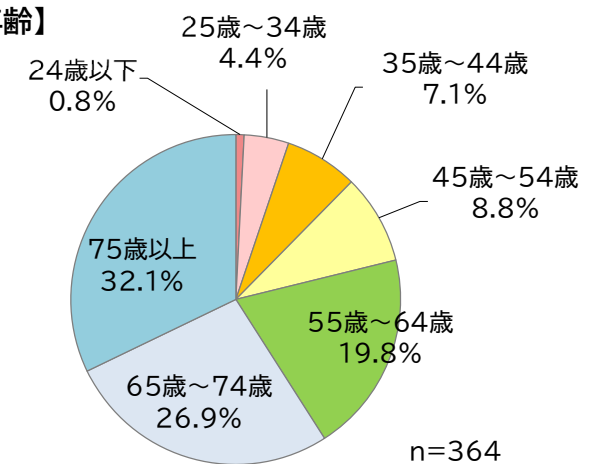
2.3 回答状況・回答者属性

- 回答部数は 372 票(うち、WEB 回答は42票)、回答率は31.0%です(※今回の集計結果は 5 月 30 日(金)までの回収部数 372 部が対象)。
- 回答者の平均年齢は、65.2歳であり、高齢者および 10 年以内に高齢者となる世代の割合が多いアンケートデータです。
- 歩行可能な距離を見ると「1km(約 16 分)程度でも問題なく歩ける」が約77%と最も割合が高く、次いで「800m(約 13 分)程度なら歩ける」が約12%です。

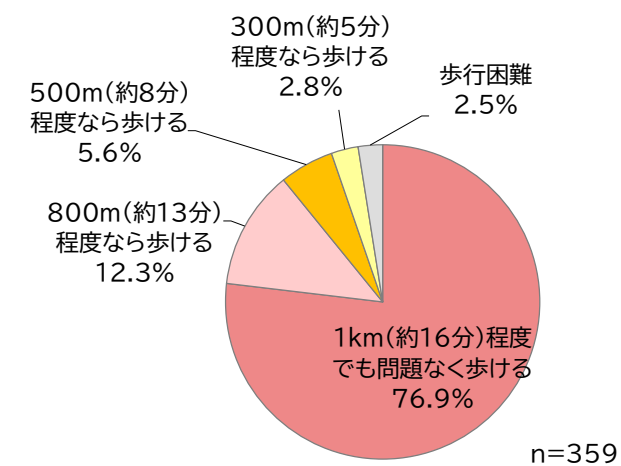
【性別】



【年齢】



【歩行可能な距離】



【サンプル数の見方について】

- ・ 基数となるべき実数は「n」(回答者数)、複数回答が可能な設問では総回答数を「N」としている。

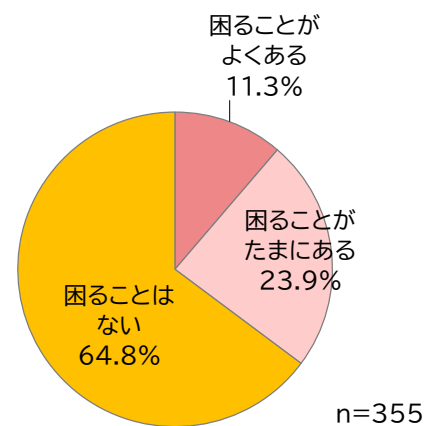
※表示桁数の関係により、計算値が一致しないことがある

2.4 現在の外出状況

(1) 外出時の困りごとについて

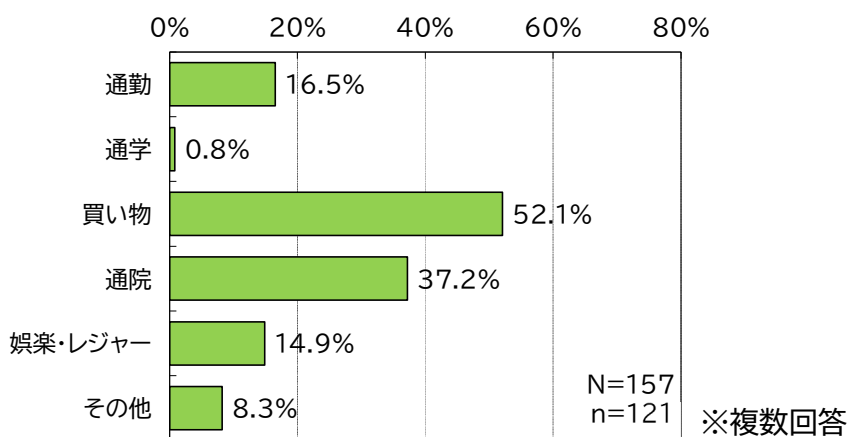
- 外出時の困りごとは、「困ることがある(困ることがよくある+困ることがたまにある)」が約35%です。
- どこに行くときに困るかは、「買い物」が最も多く、次いで「通院」、「通勤」の順です。

【外出時の困りごとの有無】



【どこに行くときに困るか】

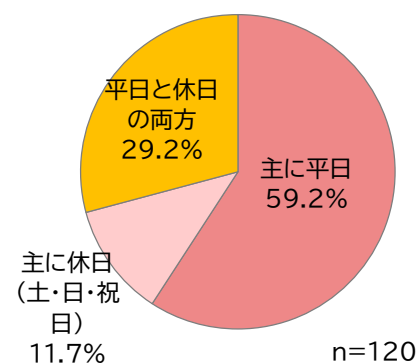
※「困ることがよくある」及び「困ることがたまにある」と回答した方が対象



- その外出はいつかを見ると、「主に平日」が約59%と最も割合が高く、次いで「平日と休日の両方」が約29%、「主に休日」が約12%です。
- その外出で特に困っていることは、「坂があり移動が困難」が最も多く、次いで「身体、体力面で移動が難しい」、「住まいの地域にバス等の公共交通がない」、「タクシーだと料金が高い」の順です。

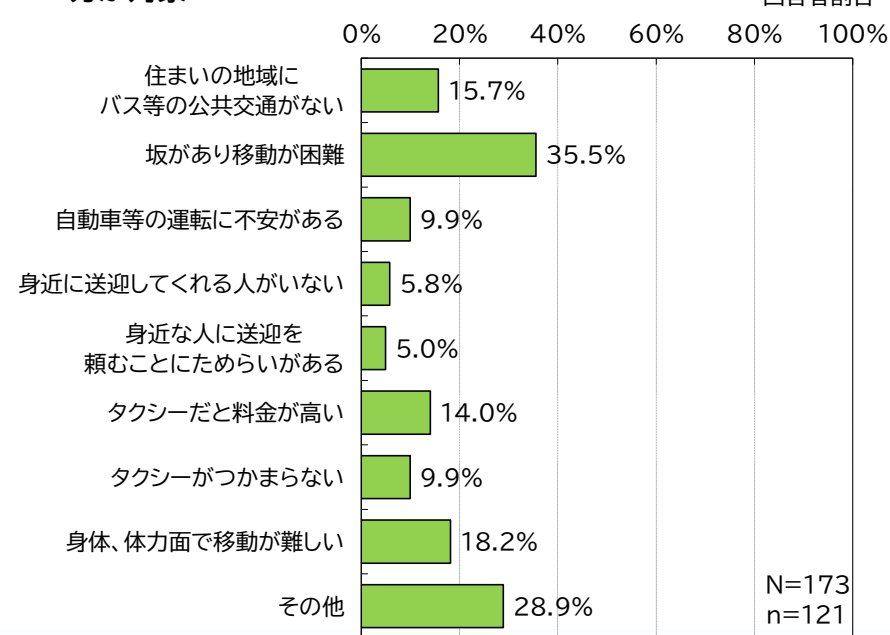
【その外出はいつか】

※「困ることがよくある」及び「困ることがたまにある」と回答した方が対象



【その外出で特に困っていること】

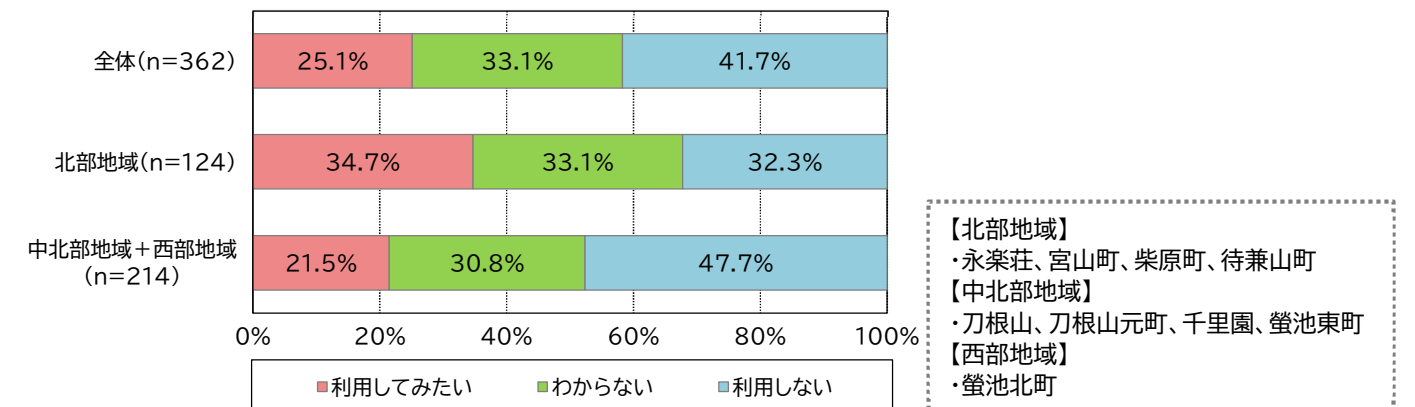
※「困ることがよくある」及び「困ることがたまにある」と回答した方が対象



2.5 市が検討している新たな交通手段について

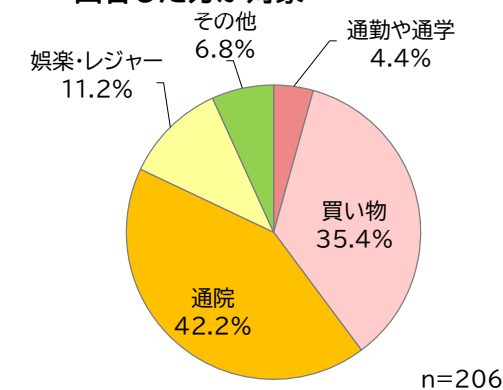
- 市が検討している新たな交通手段の利用意向は、「利用してみたい」が約25%、「わからない」が約33%、「利用しない」が約42%です。
- 住まいの地区別で見ると、「利用してみたい」の割合は、北部地域が約35%、中北部地域+西部地域が約22%です。
- 「利用してみたい」及び「わからない」と回答した方を対象に、利用目的を見ると、「通院」が約42%と最も割合が高く、次いで「買い物」が約35%、「娯楽・レジャー」が約11%です。
- 行きたい施設・場所は、「最寄り駅」が最も多く、次いで「買い物施設」、「病院・診療所」の順です。
- 利用頻度は、「1ヵ月に1日」が約25%と最も割合が高く、次いで「週に2~3日」が約20%、「週に1日」が約18%です。

【市が検討している新たな交通手段の利用意向(住まいの地域別)】



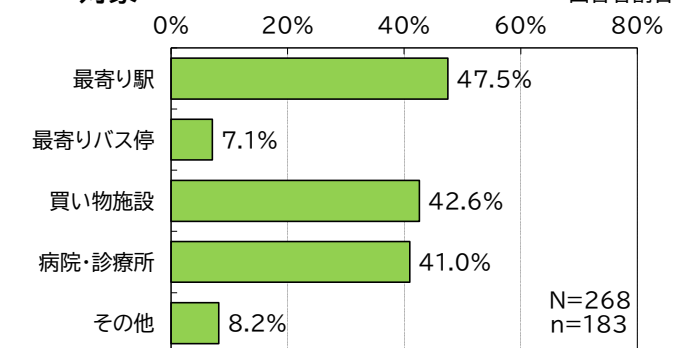
【利用目的】

※「利用してみたい」及び「わからない」と回答した方が対象



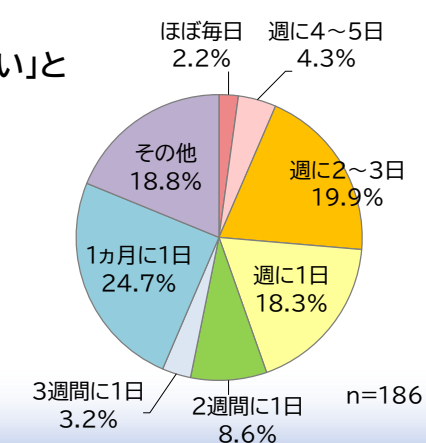
【行きたい施設・場所】

※「利用してみたい」及び「わからない」と回答した方が対象



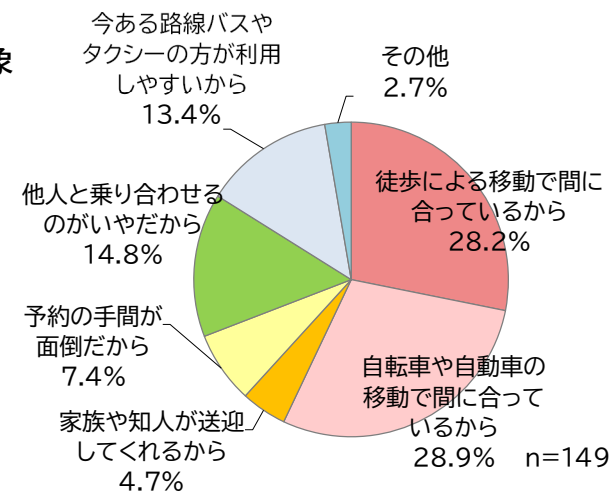
【利用頻度】

※「利用してみたい」及び「わからない」と回答した方が対象



- 「利用しない」と回答した方を対象に、利用しない理由を見てみると、「自転車や自動車の移動で間に合っているから」が約 29%と最も割合が高く、次いで「徒歩による移動で間に合っているから」が約28%、「他人と乗り合わせるのがいやだから」が約15%、「今ある路線バスやタクシーの方が利用しやすいから」が約13%です。

※「利用しない」と回答した方が対象



※表示桁数の関係により、計算値が一致しないことがある

3. 今後のスケジュール(案)

- 意見交換会およびアンケート調査の結果等を踏まえ、北部地域の交通支援検討地域において、新たな交通手段の導入に向けた具体的な検討を進めます。今後、再度意見交換会を実施したうえで、次回の地域公共交通協議会において、運行計画案を提示する予定です。
- 実証運行として令和 8 年(2026 年)4 月からの運行を予定しています。

